

2015 新年のごあいさつ

合併8年目

南九州市の発展と充実に努めます

南九州市長 霜出 勘平



新年明けましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた平成27年の新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内では、豪雨や度重なる台風の襲来、御嶽山の噴火などの自然災害で、多くの犠牲者が出たり、大きな被害に見舞われましたが、本市では比較的災害も少なかった年だったと思います。

喜ばしいことでは、頰娃地区の「頰娃おこそ会」が総務大臣賞を、知覧地区の「菊永茶生産組合」が日本農林漁業振興会長賞を、さらに川辺地区では「どんどんファーム古殿」がMBC賞を受賞され、地域の皆さまの元気と活力を感じたところでございます。

また、12月には、青色LEDの基礎技術を確立した本市出身の赤崎勇先生がノーベル物理学賞を受賞され、本市の皆さまはもちろんのこと日本中がその功績と栄誉を称え歡喜いたしました。赤崎先生は南九州市の誇りであり、深く尊敬に値いたしますので名誉市民の称号をお贈りする事が決定いたしました。

さて、今年の抱負を申し上げますと、本市のお茶は、日本一の生産量と品質を誇りますが、近年は消費量とともに茶価も低迷し大変厳しい状況にありますので、平成28年の「知覧茶」への銘柄統一へ向け、生産者・関係団体などが一体となって新たな販売戦略を立てるなど取り組みを強化したいと思っております。

南九州市発展の鍵を握る南薩縦貫道路につい

ては、知覧トンネルも貫通し、平成28年度中の供用を目標にしております完成が大変待ち遠しいところです。

知覧特攻平和会館の特攻隊員の遺品などを2015年の「ユネスコ世界記憶遺産」に登録することについては、仕切り直しとなりましたが、世界の恒久平和のためにも、次回の申請に向けさらに内容を充実させたいと思っております。

国内の情勢は、東日本大震災後の復興や景気対策、社会保障改革と財政再建、外交・安全保障政策の立て直しなど大きな課題を抱えており、地方はその影響を大きく受けております。

本市は、合併8年目を迎えました。引き続き行財政改革に取り組み、健全財政に努めながら、農業や地場産業の発展、観光の振興、社会基盤や生活環境の整備、健康・福祉の向上や教育・文化の振興、定住促進など、南九州市総合計画に基づいた諸施策を市民の皆さまとともに全力で推進してまいります。

結びに、本年も皆さまにとりまして健康で実り多い1年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。





市民の皆さまに 開かれた議会を目指して

南九州市議会議員 菊永 忠行

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆さまには、かねてから市政・市議会に
対する多大なご支援とご協力を賜り、心から感
謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内では広島県の集
中豪雨による土砂災害や御嶽山の噴火による災
害などで多くの犠牲者が出ました。このような
中、長野県北部の地震災害では1人の犠牲者も
出さなかつたということで話題になりましたが、
これは地域の共助の精神がこのような形で表れ
たのではないかと思います。このことは日本のみ
ならず、世界中からも注目、評価されていること
で、災害時の世界的モデルケースにもなり得る出
来事でした。

本市においては幸いにして大きな災害はありま
せんでしたが、この共助の精神を参考にして災害
時の対応に生かしていきたいと思っております。

昨年、世界記憶遺産登録に申請した知覧特攻
平和会館の「知覧からの手紙」につきましては惜
しくも登録はならず、次回の登録申請に向けて
仕切り直しとなりましたが、このような中、本市
出身の赤崎勇先生がノーベル物理学賞を受賞さ
れましたことは、本市のみならず鹿児島県初の快
挙であり、この偉業に対しまして心から敬意を表
し、お祝いを申し上げますとともに、市民の皆さ
まと共に喜びを分かち合いたいと思っております。

さて、経済面では安倍首相就任から2年が過
ぎ、アベノミクスの経済政策を推し進めてきたと
ころであります。一部輸出産業では業績が伸び
ているものの、中小企業や地方にはその恩恵が及
んでいない状況も見受けられます。

年末には衆議院が解散し、総選挙後に第3次
安倍内閣が発足。経済最優先で政権運営に当た
る考えを強調し「景気回復の暖かい風を全国津々

浦々に届ける」と訴えておりますが、今後の政策
の経過を見据えていかなければならないところで
あります。

本市の産業に目を向けますと、基幹産業の二つ
であるお茶については大変厳しい状況でありまし
た。現在、新たにお茶の効能を医療、科学的な
面から検証する茶健康増進実証事業を試行して
いるところで、これが実証されますとお茶の健康
食品としての地位も確立できるものと期待してい
るところであります。

畜産業や仏壇をはじめとする商工業におきま
しても厳しい状況が続いておりますが、議会とい
たしましてもこの厳しい状況を乗り切るために
執行部と一体となつて知恵を絞つてまいる所存で
あります。

なお昨年、我々の議会活動としては、議会基本
条例の施行後、初めての試みとして「市民との意
見交換会」を実施し、貴重なご意見などを伺った
ところで、今後の議会活動に生かしていく所存で
ありますが、新たな年を迎え、意見交換会もさら
に内容を充実させながら開かれた議会を目指し
て、活力と魅力ある南九州市を実現するため、市
民の皆さまの負託に応える所存でありますので、
本年も変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げ
ます。



谷場自治会の子ども会、育成会
が製作した干支の「羊」